

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用がない株主様は、下記の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】
株券電子化以前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いします。

単元株式数 100株
公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://www.nitta.co.jp/ir/index.html>)
上場金融商品取引所 東京証券取引所

お問い合わせは、下記までご連絡ください。
〒556-0022 大阪市浪速区桜川四丁目4番26号
ニッタ株式会社コーポレートセンター総務CSRグループ
TEL.06-6563-1211 <http://www.nitta.co.jp/>



本誌は、FSC 認証紙と植物油インキを使用しています。
本文には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主優待制度のご案内

当社株式を長期間保有していただいている株主の皆様のご支援にお応えすべく、下記の通り株主優待制度を拡充しておりますのでお知らせいたします。

■対象株主
毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様
※優待品の発送は例年11月頃

■優待内容
グループ会社製品および北海道の特産品

①保有期間3年以上の株主様

長期保有の株主様への優待制度

※毎年3月31日及び9月30日の株主名簿に、同一の株主番号で連続7回以上記載されていること

100株以上 : 3,000円相当

1,000株以上 : 6,000円相当



優待品例(6,000円相当)

②保有期間3年未満の株主様

100株以上 : 1,200円相当

1,000株以上 : 3,000円相当

※優待内容につきましては、予告なく変更されることがあります。予めご了承ください。



証券コード 5186
ニッタ株式会社

株主の皆様へ 第88期第2四半期のご報告 (2016年4月1日~2016年9月30日)

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

現在、当社グループは、中長期経営計画『V2020』で掲げるあるべき姿を目指し、全力で取り組みを推進しております。

当期は、その第2フェーズの2年目にあたり、各施策を着実に実施するとともに、来期、最終年度(2017年度)の目標達成に向けた先行投資に力を入れております。また、同時に、これからの当社グループの原点となるべき、ニッタのブランド戦略を進めており、来春3月に発表する予定です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長 に っ た も と の ぶ
新田 元庸



経営方針

われわれは互いに共感しあえる社風を育み

人々の生活文化の向上に寄与するため常に市場の要請を先取りし

優れた技術と質の高いサービスのたゆまぬ創造を通じて広く世界に貢献します。

経営指針

- ニッタは、質的に洗練された超一流企業を目指します。
- ニッタは、グループ内のすべての経営資源を結集し、経営基盤の強化と長期安定的な発展を目指します。
- ニッタは、技術、サービスに独創的な発想が付加されてはじめて製品であるという認識をもち、顧客の信頼に応えています。
- ニッタは、人材が最大の経営資源であることを認識し、働く喜びと誇りを共感できる職場を目指します。
- ニッタは、地域社会の一員として社会との調和を図り、良き企業市民であることを目指します。

ニッタグループの価値創造に向けて、様々な視点から各施策を展開

Q1 それでは、まず、第2フェーズの各施策の進捗・成果などをお聞かせください。

当期は、中長期経営計画の第2フェーズの2年目にあたり、目標達成に向けて、着実に施策を実施しております。三大チャレンジの内、「新事業・新製品の創出」につきましては、NIC(ニッタイノベーションフルー)を若手から選抜し、昨年よりプロジェクト活動を本格化させ、現在テーマを絞り込み検討を進めております。同分野は、当社グループの将来をつくり出すチャレンジですが、一朝一夕に成し得るものではなく、長期的視点でプロジェクトを運営しております。ただ、このNICプロジェクトを通じて、“社員みなアイデアパーソン”の意識が広がり、新事業・新製品への取り組み風土が着実に根付いてきております。次に、「グローバル化の推進」におきましては、2016年3月に買収したCCB*社との良好な関係をもとに、北米事業の拡大を図ると同時に、NCA*第2工場建設をはじめメキシコ、タイなどで生産増強を進めております。一方、当社グループは、事業のグローバル化に合わせ、事業上だけでなく、経営、考え方、行動、交流などの点で、真のグローバル企業に資する体制構築を目指しております。この視点から見ますと国内における考え方や仕事の進め方などの旧態依然としている部分について、さらなる改革を推進していくことが、これからの課題と考えております。最後に「トータルコスト競争力の向上」につきましては、前期より展開しております「1/2運動」が社内に浸透し、本年11月には、全事業部からの発表も行われ、流れが定着してきております。

*CCB : Connect Conveyor Belting Inc.
*NCA : Nitta Corporation of America

■中長期経営計画『V2020』第2フェーズ

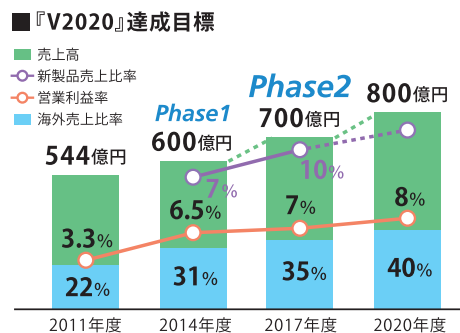
ソフトマテリアル“複合化技術”のグローバルNo.1パートナー

View of the World
価値創造し続けられる者のみが生き残る
“適者生存”

Phase2の三大チャレンジ

- ① 新事業・新製品の創出**
『社員みなアイデアパーソン』 次世代に繋ぐ新事業のタネを創出する
- ② グローバル化の推進**
『世界どこでもニッタあり』 市場のグローバル化に伴い、更に積極的な展開を進める
- ③ トータルコスト競争力の向上**
『シンプルかつスピードアップ』 全社で業務効率UPに取り組み、より創造的な仕事を!

業績目標(連結)



Q2 そのような取り組みの中で、当第2四半期累計期間の業績はいかがでしたか。

当期間の状況といたしましては、米国では堅調な景況感が持続したほか、英国のEU離脱問題による世界経済への影響も限定的で、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化などがあるものの、世界経済は緩やかな回復基調で推移いたしました。国内経済につきましても、円高の進行や中国景気の影響などを受ける産業もありますが、全般的には底堅く推移しております。こうした中、当社グループの主要需要先では、国内における物流業界や半導体製造装置向けなど、海外においては、北米・中南米での自動車・物流業界向けが堅調であったものの、アジア地区

■売上高と経常利益の推移



では建設機械の減産傾向が続きました。この結果、当期間の売上高は前年同期比0.3%増の319億8千7百万円となりました。一方、損益面につきましては、継続的な生産性改善効果はあるものの、生産増強などへの先行投資、為替の影響などにより営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益とも減益となりました。なお、第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、前年同期比2円増配の26円を実施いたしました。

Q3 最後に株主の皆様に向けたメッセージをお願いいたします。

近況の世界経済は、様々な要因から不透明な状況で推移しておりますが、新興国・発展途上国などの生活水準の向上、世界人口の増加など、全体的には成長していくはずですが、この成長を支えていくために、世界のどこかでは生産が拡大し、世界のニーズに対応していくために、イノベーションが進行していきます。この大きな流れを捉えて行くことが企業の優勝劣敗を決めてまいります。“適者生存”。価値創造し続けられる者のみが生き残る。

現在、ニッタグループでは、このような観点から、価値創造の原点となるべき、グループのブランディングに取り組んでおります。この春より、ブランド開発プロジェクトを発足させ、メンバーによるセッションをはじめ、社員やお取引先などへのアンケートを実施。ニッタの強み・弱みを分析し、次の50年、100年に向けてのニッタブランドの再構成を行っています。“発明・改良・円満”の創業理念を根拠として、グローバル化を推進する社会でのニッタの使命と価値観を策定し、2017年3月に発表を予定しております。

社会と共創する、新しい価値を求めて

当社グループでは、将来のグループ事業の柱となる新事業・新製品の創出に向けてプロジェクトを始動させています。「NIC(ニッタイノベーションクルー)プロジェクト」と呼ばれ、若手中心のメンバーが広く社会・産業のこれからを見定め、グループとして取り組んでいくべき開発テーマの抽出・提案を行うものです。現在、2年度目を迎えています。初年度のリーダーへのインタビューをもとに、その活動の概要をご紹介します。

■若手中心の横断的メンバー選抜

当社グループでは、中長期経営計画『V2020』の三大チャレンジの一つとして、「新事業・新製品の創出」を掲げています。この具体化を図っていくのがNICプロジェクトで、少し長いレンジでニッタの新しい価値創造を成し遂げていくものです。まずは、社長直轄のチームとして、技術系の若手が横断的に4名選ばれました。従来のプロジェクトでは、既存業務との兼任が多いのですが、メンバー4名全員が専任です。また、今回のプロジェクトでは、単に新製品のアイデアを出すだけでなく、事業として成り立つための販売方法、販路までが求められています。ニッタの将来について提言する重責にプレッシャーを感じながらも、2015年3月から本格的に活動を開始しました。

■模索開始

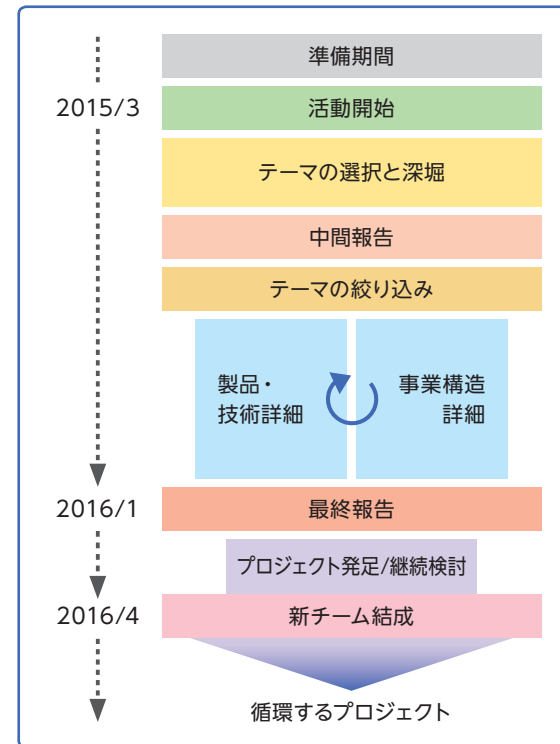
そもそも、新事業・新製品の創出と言っても、社会は広く、産業界は絶えずイノベーションを行っています。また、当社グループにできないこととできないことがあります。まずは、今までに培ってきた自分の中に蓄積されている知見とインターネットや新聞などによる社会・産業の今後についての情報をかき集め、模索を始めました。一方、ニッタグループのシーズについては、国内の2工場を視察するなどして情報収集を行いました。準備は整いました。メンバー4人、それぞれに意見を交わしながら、各自2テーマを提案、その後1テーマに絞り込みました。選んだテーマは、医療・インフラ・製造業・輸送機器。このテーマの



▲ミーティング風景

もと、経営戦略室などのサポートを受け、中間報告を実施。その結果、2テーマの検討継続が決まりました。いよいよ最終報告です。

■プロジェクトの進行



■2016年1月、最終報告日を迎えました

社会・産業がイノベーションを続ける中で、ニッタグループもイノベーションしていくことが必要です。このような決意のもと、約11ヶ月をかけて提案をまとめ上げ、2016年1

月最終報告の日を迎えました。報告の場は、技術戦略会議です。中間報告で絞り込まれた2テーマにつき発表・提案を行い、ひとつの区切りを迎えました。結果は1テーマのプロジェクト化、1テーマの継続検討が決まりました。ただ一番感じたことは、それぞれに最大限の努力はしたものの、熟度の足りない提案を報告の場におられた方々に真摯に受け止めてもらい、様々な質問・意見をいただいたことです。ニッタグループには「発明・改良」のDNAが流れつづけていることを実感しました。



▲新田社長とプロジェクトメンバー

■これからです

最終報告後、1テーマにつきプロジェクトチームが発足し、この提案を行ってきたメンバーの内2名が参画、具体的検討が進められています。また、新たなメンバーが本年4月に選抜され、新たな挑戦が始まっています。新事業・新製品の創出は簡単にできるものではありませんが、NICプロジェクトを継続することでグループ内のイノベーションへの意識を高めていくことが必要だと思えます。プロジェクト始動から2年目の今、その風土は着実に根付いてきています。

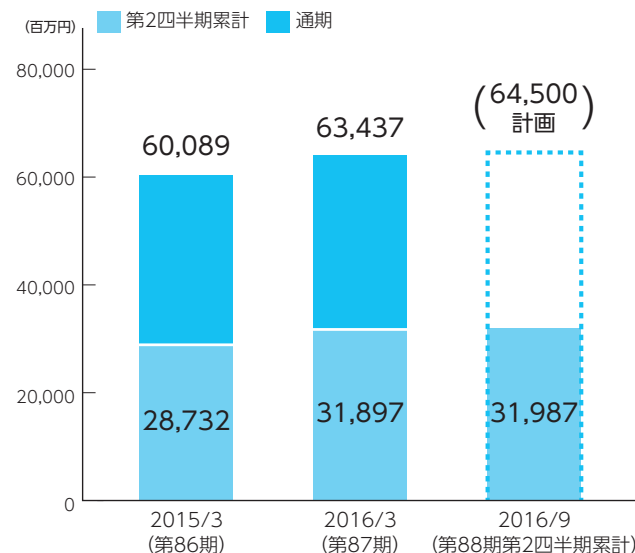
ニッタの将来は、いまにある

連結財務ハイライト

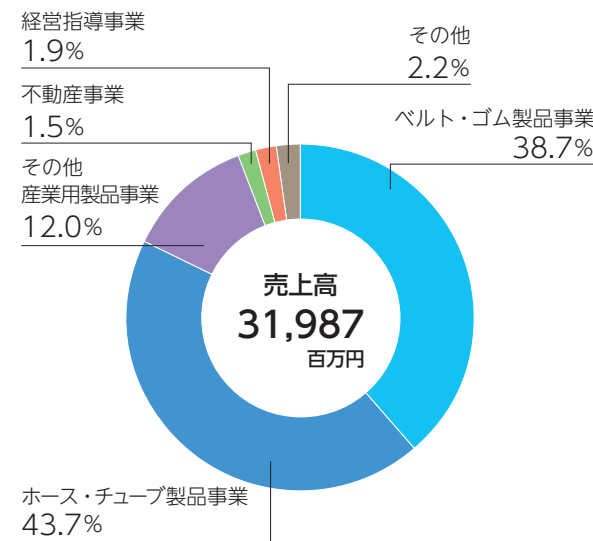
(百万円)

	2015/3 (第86期)	2016/3 (第87期)	2016/9 (第88期第2四半期累計)
売上高	60,089	63,437	31,987
営業利益	3,879	4,599	2,495
経常利益	9,518	10,532	4,841
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	7,458	8,486	3,890
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	257.08	292.27	133.85
総資産	102,778	106,182	103,925
純資産	81,664	85,969	84,528

■売上高の推移



■セグメント別構成比 (第88期第2四半期累計)



■会社概要

社名	ニッタ株式会社 (NITTA CORPORATION)
創業	明治18(1885)年3月
設立	昭和20(1945)年2月
資本金	8,060 百万円
従業員数	2,233 名(連結)

■役員

取締役及び監査役の体制

取締役 会長	國枝 信孝
代表取締役 社長	新田 元庸
取締役	西村 修
取締役	大塚 一彦
取締役	井上 一美
取締役	芳村 恵司
取締役	石切山 靖順
取締役(社外)	菅 充行
取締役(社外)	中尾 正孝
常勤監査役	永矢 敏則
常勤監査役	藤田 浩治
監査役(社外)	正殿 博章
監査役(社外)	森本 三義

執行体制

社長	新田 元庸
常務執行役員	西村 修
常務執行役員	大塚 一彦
執行役員	黒川 泰雄
執行役員	井上 一美
執行役員	小林 武史
執行役員	芳村 恵司
執行役員	石切山 靖順
執行役員	滋野 隆広
執行役員	島田 晴示

■主要子会社

- 株式会社パワーテクノ
- 関西化工株式会社
- ニッタテクノ株式会社
- 協和工業株式会社
- モリミツ株式会社
- NITTA CORPORATION OF AMERICA
- NITTA CORPORATION OF HOLLAND B.V.
- NITTA INDUSTRIES EUROPE GmbH
- NITTA MOORE Mexico S. de R.L. de C.V.
- NITTA CORPORATION OF SINGAPORE PTE LTD.
- 韓国ニッタムア株式会社
- 霓達(上海)企業管理有限公司
- 霓達摩尔科技(常州)有限公司
- 霓達精密伝動(常州)有限公司
- 台湾霓塔股份有限公司

■関連会社

- ゲイツ・ユニッタ・アジア株式会社
- ニッタ・ハース株式会社

■株式の状況

会社が発行する株式の総数	100,000,000 株
発行済株式総数	30,272,503 株
株主数	3,863 名

■大株主

新田ゴム工業株式会社	2,842,052 株
アイビーピー株式会社	2,301,000 株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,638,600 株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,464,000 株
合同会社オンガホールディングス	1,430,500 株
JP MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,227,200 株
ニッタ取引先持株会	972,400 株
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15PCT TREATY ACCOUNT	696,500 株
ニッタ共栄会	585,600 株
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	550,600 株

※当社は、自己株式1,014,399株を保有していますが、上記の大株主からは除いています。